

IRI 単独

IRI (CPT-11 イリノテカン)

【適応】

治癒切除不能な進行・再発の胃がん（2次治療以降に使用する）

【投与スケジュール】

	Day1	...	14
IRI 150mg/m ² 90分	↓		

2週間を1コースとする。

※UGT1A1 活性が低い症例

(UGT1A1 6及び28のいずれかがホモ接合体またはダブルヘテロ接合体)の多型で好中球減少症や下痢の頻度が高くなるため、可能な限り治療前に測定しておく。ホモ欠損、ダブルヘテロ型では1段階以上減量して開始する。

<IRI 減量の目安>

有害事象	Grade	減量
白血球減少 血小板減少	Grade4	1段階減量
好中球減少症、 感染	Grade3	
下痢、口内炎、神経障害、関節痛、 筋肉痛	Grade3	
AST, ALT 上昇	Grade3	
有害事象により2週間連続投与延 期が必要	Grade3	

<初回基準量と減量方法>

減量レベル	CPT-11 (mg/m ²)
初回投与	150
1段階減量	120
2段階減量	100